

鶺三小だより

3月号

令和7年如月28日 各務原市立鶺沼第三小学校

「ありがとう」と「言うこと」

皆さん、早いもので、後一月したら春休みです。六年生の皆さんは卒業していますね。私にとっては、今年度もあつと言う間でした。さて、皆さん、2025年も始まって二月経ったわけですが、皆さんは、この二月間に一番多く使った言葉は、何ですか？人によっては、「おはようございます」かもしれません。「うれしい」もあるでしょう。ちょっと思い出してみてください。私は、「良かったね」のような気がします。と言うのも、休み時間、わざわざ校長室に来てくれ「昨日、家族で〇〇ランド行ったよ。楽しかったよ」や、「お年玉で〇〇買ったよ」とか、報告してくれた人が何人もいました。廊下ですれ違いに「この服かわいいでしょ。お母さんが昨日〇〇で買ってくれたよ」と話しかけてくれる人もいました。私は、そのたびに、「良かったね」と言います。私が「良かったね」と言う時、その場には笑顔しかありません。だから私が「良かったね」と言えば言うほど、学校の中に笑顔があふれているわけです。もちろん、毎日の生活の中で、嫌な思いや悲しい思いをしている人もいます。けれども、悲しい思いをしている人にも、その人とお話しして、少しでも「良かった」と思えることを校長として見つけて、優しく「つらかったけれど、良かったね」と言いたいです。

さて、私は「人生は使った言葉でできている」と考えています。高学年の人には分かってほしいのですが、「つらい、悲しい」と言うことと、「つらい、悲しい」と言うことは全く別です。人生は思った言葉でできている」のではなく、「使った言葉でできている」のです。だからこそ、私は皆さんに使ってほしい言葉があります。それは「ありがとう」です。人がしてくれたことを当たり前とせず、感謝できる人になってほしいからです。一年の中で、一番多く使った言葉が「ありがとう」であってほしいのです。これからも「ありがとう」があふれる学校を目指します。春は近づいていますから。

【3月の予定】

日	曜	行事等
1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	ボランティア表彰式
6	木	
7	金	調理員さんへの感謝の
8	土	
9	日	
10	月	通学班会
11	火	
12	水	なかよし(最終回)
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	
20	木	春分の日
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	卒業証書授与式
26	水	終業式・修了式・離任式
27	木	
28	金	
29	土	春休み
30	日	
31	月	

保護者の方へ ～地域の方が鶺三小を見守ってくださっています～

今月19日に、鶺沼第三連合の青少年育成市民会議に参加しました。この会は、年3回開催されており、今回は今年度最後の会で、鶺三校区のそれぞれの自治会で今年度行われた子供達とのふれあい活動が報告されました。地域の各自治体で、町内でそれぞれ子供たちのために活動して下さっていること、校長として心より感謝いたします。また、毎朝、そして下校時に子供たちの登下校を見守ってくださる見守り隊の方々にも本当に感謝申し上げます。見守り隊の方も、完全ボランティアです。先日ある方からお手紙をいただきました。それは、「今まで見守り隊を続けてきたが、ご自身の体調もすぐれず、今年度で見守り隊を辞する」という内容でした。その中で、ご自身が子供たちの元気な挨拶、感謝の言葉、にぎやかな登下校風景に元気がもらえたことを感謝してみえました。私は、思わず涙が出ました。ご自身のお孫さんでもないのに、本校の子供たちを大切にお考えいただき、見守ってくださって見える地域の方の存在に、今の日本がもう一度考え直さなければいけない大切なことを感じずにはられません。 「地域で子供を育てる」とは、どこの地域でも言われますが、鶺三小校区は、本当に実践して下さっていると改めて思いました。また、先日も来年度の「ふれあいフェスティバル」の実行委員会の方がご挨拶にみえました。子供たちも楽しみにしている地域のイベントです。大きなイベントなので運営も大変でしょうが、こちらもある意味地域のボランティア活動です。末永く続けていただきたいからこそ、どうぞご無理だけはなされませんようにとも思う校長でした。